

(別表)

司書の講習の科目のねらいと内容

科目名・単位数	ね	ら	い	内	容
必修科目					
1. 基礎科目					
生涯学習概論 〔2単位〕	生涯学習及び社会教育の本質と意義の理解を図り、教育に関する法律・自治体行財政・施策、学校教育・家庭教育等との関連、並びに社会教育施設、専門的職員の役割、学習活動への支援等の基本を解説する。			(1) 生涯学習・生涯教育論の展開と学習の実際 (2) 生涯学習社会における家庭教育・学校教育・社会教育の役割と連携 (3) 生涯学習振興施策の立案と推進 (4) 教育の原理とわが国における社会教育の意義・発展・特質 (5) 社会教育行政の意義・役割と一般行政との連携 (6) 自治体の行財政制度と教育関連法規 (7) 社会教育の内容・方法・形態（学習情報の提供と学習相談、評価を含む） (8) 学習への支援と学習成果の評価と活用 (9) 社会教育施設・生涯学習関連施設の管理・運営と連携 (10) 社会教育指導者の役割	
図書館概論 〔2単位〕	図書館の機能や社会における意義や役割について理解を図り、図書館の歴史と現状、館種別図書館と利用者ニーズ、図書館職員の役割と資格、類縁機関との関係、今後の課題と展望等の基本を解説する。			(1) 図書館の現状と動向 (2) 図書館の構成要素と機能 (3) 図書館の社会的意義（ユネスコ公共図書館宣言、地域社会と図書館を含む） (4) 知的自由と図書館（図書館の自由に関する宣言等） (5) 図書館の歴史 (6) 公立図書館の成立と展開 (7) 館種別図書館と利用者のニーズ (8) 図書館職員の役割と資格 (9) 図書館の類縁機関・関係団体（文書館を含む） (10) 図書館の課題と展望	
図書館制度・経営論 〔2単位〕	図書館に関する法律、関連する領域の法律、図書館政策について解説するとともに、図書館経営の考え方、職員や施設等の経営資源、サービス計画、予算の確保、調査と評価、管理形態等について解説する。			(1) 図書館法（逐条解説） (2) 他館種の図書館に関する法律等（学校図書館法、国立国会図書館法、大学設置基準、身体障害者福祉法） (3) 図書館サービス関連法規（子どもの読書活動推進法、文字・活字文化振興法、著作権法、個人情報保護法、労働関係法規、民法等） (4) 図書館政策（国、地方公共団体） (5) 公共機関・施設の経営方法（マーケティング、危機管理を含む） (6) 図書館の組織・職員（組織構成、館長の役割、人事管理、図書館協議会、ボランティアとの連携） (7) 図書館の施設・設備 (8) 図書館のサービス計画と予算の確保 (9) 図書館業務・サービスの調査と評価 (10) 図書館の管理形態の多様化	
図書館情報技術論 〔2単位〕	図書館業務に必要な基礎的な情報技術を修得するために、コンピュータ等の基礎、図書館業務システム、データベース、検索エンジン、電子資料、コンピュータシステム等について解説し、必要に応			(1) コンピュータとネットワークの基礎 (2) 情報技術と社会 (3) 図書館における情報技術活用の現状 (4) 図書館業務システムの仕組み（ホームページによる情報の発信を含む） (5) データベースの仕組み (6) 検索エンジンの仕組み	

	じて演習を行う。	(7) 電子資料の管理技術 (8) コンピュータシステムの管理（ネットワークセキュリティ、ソフトウェア及びデータ管理を含む） (9) デジタルアーカイブ (10) 最新の情報技術と図書館
2. 図書館サービスに関する科目		
図書館サービス概論 〔2単位〕	図書館サービスの考え方と構造の理解を図り、資料提供、情報提供、連携・協力、課題解決支援、障害者・高齢者・多文化サービス等の各種のサービス、著作権、接遇・コミュニケーション等の基本を解説する。	(1) 図書館サービスの考え方と構造 (2) 図書館サービスの変遷（図書館法制定以降） (3) 資料提供サービスの基本（利用案内・貸出・予約サービスの流れと相互の関係） (4) 情報提供の形態と機能（レファレンスサービス、情報発信、講座・セミナー） (5) 図書館サービスの連携・協力（図書館ネットワークの意義と形態） (6) 課題解決支援サービス (7) 障害者サービス (8) 高齢者サービス、多文化サービス (9) 図書館サービスと著作権 (10) 利用者に対する接遇・コミュニケーション、広報
情報サービス論 〔2単位〕	図書館における情報サービスの意義を明らかにし、レファレンスサービス、情報検索サービス等のサービス方法、参考図書・データベース等の情報源、図書館利用教育、発信型情報サービス等の新しいサービスについて解説する。	(1) 情報社会と図書館の情報サービス (2) 図書館における情報サービスの意義と種類（レファレンスサービス、レフェラルサービス、カレントアウェアネスサービス、読書相談、利用案内等） (3) レファレンスサービスの理論（利用者の情報行動、レファレンスプロセス、事例の活用、組織と担当者、サービスの評価等） (4) レファレンスサービスの実際（レファレンスサービスの体制づくり・実施・普及、現状と問題点等） (5) 情報検索サービスの理論と方法 (6) 各種情報源の特質と利用法 (7) 各種情報源の解説と評価（参考図書、ネットワーク情報資源等を含む） (8) 各種情報源の組織化（二次資料の作成、情報発信を含む） (9) 発信型情報サービスの意義と方法 (10) 図書館利用教育（情報リテラシーの育成を含む）
児童サービス論 〔2単位〕	児童（乳幼児からヤングアダルトまで）を対象に、発達と学習における読書の役割、年齢層別サービス、絵本・物語等の資料、読み聞かせ、学校との協力等について解説し、必要に応じて演習を行う。	(1) 発達と学習における読書の役割 (2) 児童サービスの意義（理念と歴史を含む） (3) 児童資料（絵本） (4) 児童資料（物語と伝承文学、知識の本） (5) 児童サービスの実際（資料の選択と提供、ストーリーテリング、読み聞かせ、ブックトーク等） (6) 乳幼児サービス（ブックスタート等）と資料 (7) ヤングアダルトサービスと資料 (8) 学習支援としての児童サービス（図書館活用指導、レファレンスサービス） (9) 学校、学校図書館の活動（公立図書館との相違点を含む） (10) 学校、家庭、地域との連携・協力
情報サービス演習 〔2単位〕	情報サービスの設計から評価に至る各種の業務、利用者の質問に対するレファレン	(1) 情報サービスの設計（レファレンスサービスの体制づくりを含む） (2) レファレンスコレクションの整備

	<p>スサービスと情報検索サービス、積極的な発信型情報サービスの演習を通して、実践的な能力を養成する。</p>	<p>(3) レファレンスインタビューの技法と実際 (4) 情報検索の技法と実際（各種データベースの検索演習や電子ジャーナルの活用） (5) 質問に対する検索と回答（質問の分析と情報源の選択を含む） (6) 発信型情報サービスの実際（パスファインダーの作成を含む） (7) 情報サービスの評価（レファレンス事例の作成・評価を含む）</p>
3. 図書館情報資源に関する科目		
<p>図書館情報資源概論 [2 単位]</p>	<p>印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源について、類型と特質、歴史、生産、流通、選択、収集、保存、図書館業務に必要な情報資源に関する知識等の基本を解説する。</p>	<p>(1) 印刷資料・非印刷資料の類型と特質（図書・雑誌・新聞、主要な一次・二次資料、資料の歴史を含む） (2) 電子資料、ネットワーク情報資源の類型と特質 (3) 地域資料、行政資料（政府刊行物）、灰色文献 (4) 情報資源の生産（出版）と流通（主な出版者に関する基本的知識を含む） (5) 図書館業務と情報資源に関する知識（主な著者に関する基本的知識を含む） (6) コレクション形成の理論（資料の選択・収集・評価） (7) コレクション形成の方法（選択ツールの利用、選定・評価） (8) 人文・社会科学分野の情報資源とその特性 (9) 科学技術分野、生活分野の情報資源とその特性 (10) 資料の受入・除籍・保存・管理（装備・補修・排架・展示・点検等を含む）</p>
<p>情報資源組織論 [2 単位]</p>	<p>印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源の組織化の理論と技術について、書誌コントロール、書誌記述法、主題分析、メタデータ、書誌データの活用法等を解説する。</p>	<p>(1) 情報資源組織化の意義と理論 (2) 書誌コントロールと標準化 (3) 書誌記述法（主要な書誌記述規則） (4) 主題分析の意義と考え方 (5) 主題分析と分類法（主要な分類法） (6) 主題分析と索引法（主要な統制語彙） (7) 書誌情報の作成と流通（MARC、書誌ユーティリティ） (8) 書誌情報の提供（OPACの管理と運用） (9) ネットワーク情報資源の組織化とメタデータ (10) 多様な情報資源の組織化（地域資料、行政資料等）</p>
<p>情報資源組織演習 [2 単位]</p>	<p>多様な情報資源に関する書誌データの作成、主題分析、分類作業、統制語彙の適用、メタデータの作成等の演習を通して、情報資源組織業務について実践的な能力を養成する。</p>	<p>(1) 書誌データ作成の実際 (2) 主題分析と分類作業の実際 (3) 主題分析と統制語彙適用の実際 (4) 集中化・共同化による書誌データ作成の実際 (5) 書誌データ管理・検索システムの構築 (6) ネットワーク情報資源のメタデータ作成の実際</p>
必修科目 小計 2 2 単位		

選択科目	ね ら い
図書館基礎特論 〔1単位〕	必修の各科目で学んだ内容を発展的に学習し、理解を深める観点から、基礎科目に関する領域の課題を選択し、講義や演習を行う。
図書館サービス特論 〔1単位〕	必修の各科目で学んだ内容を発展的に学習し、理解を深める観点から、図書館サービスに関する領域の課題を選択し、講義や演習を行う。
図書館情報資源特論 〔1単位〕	必修の各科目で学んだ内容を発展的に学習し、理解を深める観点から、図書館情報資源に関する領域の課題を選択し、講義や演習を行う。
図書・図書館史 〔1単位〕	必修の各科目で学んだ内容を発展的に学習し、理解を深める観点から、図書をはじめとする各種図書館情報資源の形態、生産(印刷等含む)、普及、流通等の歴史、並びに図書館の歴史的発展について解説する。
図書館施設論 〔1単位〕	必修の各科目で学んだ内容を発展的に学習し、理解を深める観点から、図書館活動・サービスが展開される場としての図書館施設について、地域計画、建築計画、その構成要素等を解説する。
図書館総合演習 〔1単位〕	必修の各科目で学んだ内容を掘り下げて学習し、理解を深める観点から、少人数を対象に、研究指導や論文指導あるいは見学会・講演会等を組み合わせた総合的な演習を行う。
図書館実習 〔1単位〕	図書館に関する科目で得た知識・技術を元にして、事前・事後学習の指導を受けつつ公立図書館業務を経験させる。
選択科目 小計2単位	
合 計 24単位	

司 書 補 の 講 習 の 科 目 の ね ら い

科目名・単位数	ね ら い
生涯学習概論 〔1単位〕	生涯学習及び社会教育の本質について理解を図る。
図書館の基礎 〔2単位〕	図書館の意義、種類、機能及び図書館の組織、運営、計画等について基礎的事項を中心に解説し、併せて図書館員の責務、図書館協力、図書館の課題・動向、図書館の歴史、図書館政策、関係法規等についても言及する。
図書館サービスの基礎 〔2単位〕	図書館サービスの意義、特質、方法や図書館における情報サービス等について基礎的事項を中心に解説し、図書館サービスと著作権にも言及する。
レファレンスサービス 〔1単位〕	レファレンスの意義、レファレンス質問の受付から回答に至るレファレンスプロセス、レファレンスコレクション構築等の情報源の組織について解説する。
レファレンス資料の解題 〔1単位〕	参考図書のほか、電子形態やマイクロ形態の二次資料を中心に、その種類と特質を解説し、代表的なレファレンス資料を解題する。
情報検索サービス 〔1単位〕	情報検索サービスの意義、方法等や情報検索の実際等について解説する。
図書館の資料 〔2単位〕	図書館の資料全般について、その特質を論じ、出版と流通、選択と蔵書構築、保存管理と利用方法等について解説する。
資料の整理 〔2単位〕	図書館における資料組織の意義・目的と方法について基礎的事項を中心に解説する。
資料の整理演習 〔1単位〕	図書、視聴覚メディアの各資料の整理・組織化について演習を行い、実践的な能力の養成を図る。
児童サービスの基礎 〔1単位〕	児童を対象とする各種のサービス、児童室の運営、児童図書等について解説し、併せてヤングアダルトサービスについても解説する。
図書館特講 〔1単位〕	図書館業務に係る基礎的な内容や、図書館における今日的な諸課題について広く取り上げ解説する。
合 計 15単位	